

災害医療論

| | | | |
|--------------|---------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 共通基盤看護学講座 三浦 まゆみ 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 救急・災害・総合医学講座災害医学分野 | | |
| 対象学年 | 3 | 区分・時間数 | 講義 12 時間 |
| 期 間 | 前期 | | |
| 単 位 数 | 1 単位 | | |

・学習方針（講義概要等）

災害の定義、種類とその特徴、災害急性期から慢性期における災害医療の課題・問題点、傷病者・被災者への支援制度・システムを学ぶ。その中で具体的に看護の役割を理解する。災害対応するための医療知識とともに、災害医療チームの一員として活動できる基本的な知識を修得し、災害時における多機関連携・調整の重要性を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

災害医療の原則、概念、そして過去から現在の災害時の医療活動を学ぶことで、多職種・多機関と連携し、看護師として災害時（急性期から慢性期まで）に適切な活動ができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 4, 6, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 災害の種類や災害サイクル、支援体制、危機と危機管理について説明できる。
2. 災害時の医療救護活動のフェーズ（超急性期～静穏期）と各期の看護について理解できる。
3. 災害時の医療救護活動の基本である CSCATTT について理解できる。
4. 災害時における医療機関の役割を理解し、適切に対応することができる。
5. 災害周期の変化に対応しながら多職種、多機関と連携・協働の上、安全なケア環境提供を継続する必要性を理解できる。
6. トリアージの方法を理解し、実施できる。
7. 災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得する。
8. 収集した情報を分析し、災害の全体像を把握できる。
9. がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐことができる。
10. 避難所について理解し、必要な保健・医療へつなぐことができる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室ほか

【講義】

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 授業内容/到達目標 |
|------|----|----|------------------------|---------------------------------|--|
| 6/14 | 金 | 3 | 救急・災害・総合医学講座 災害医学分野 | 眞瀬 智彦 教授 | 災害医学総論 ・危機管理とは、災害関連法、CSCATTT、災害時の情報について理解する |
| 6/18 | 火 | 3 | 救急・災害・総合医学講座 災害医学分野 | 眞瀬 智彦 教授 | 災害医学各論① ・過去の災害時の医療活動について説明できる ・超急性期から静穏期の看護について理解できる |
| 6/25 | 火 | 3 | 救急・災害・総合医学講座 災害医学分野 | 眞瀬 智彦 教授 | 災害医学各論② ・避難所での活動を説明できる ・特殊災害について理解できる |
| 6/28 | 金 | 3 | 救急・災害・総合医学講座 災害医学分野 | 眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 | (実習) トリアージ ・トリアージの方法を理解し、実施できる |
| 7/2 | 火 | 3 | 救急・災害・総合医学講座 災害医学分野 | 眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 | (実習) 情報通信・情報解析 ・災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得する |
| 7/2 | 火 | 4 | 救急・災害・総合医学講座 災害医学分野 | 眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 | (机上訓練) 受援 ・被災した医療機関における受援を理解し、適切に対応することができる |
| 7/5 | 金 | 3 | 救急・災害・総合医学講座 災害医学分野 | 眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 | (机上訓練) 避難所 ・災害時における避難所について理解し、支援活動を行うことができる |

| | | | | | |
|-----|---|---|------------------------|---------------------------------|---|
| 7/5 | 金 | 4 | 救急・災害・総合医学講座 災害医学分野 | 眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 | (実習) がれきの下の医療 ・ がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐことができる |
|-----|---|---|------------------------|---------------------------------|---|

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|-------------------|---------------|-------|------|
| 推 | 災害医学 第2版 | 山本保博 鶴飼卓 杉本勝彦 | 南山堂 | 2009 |
| 推 | DMAT 標準テキスト 改訂第2版 | 日本集団災害医学会 | へるす出版 | 2015 |

・成績評価方法

定期試験（80点）、講義・実習中の口頭試問・議論形式、授業態度（20点）により、総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・掲示（Webclass 活用）されるレジユメを用いて事前学習（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学習の時間は最低 30 分を要する

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|--------------------|----|-----------|
| 講義 | プロジェクター（VPL-FWZ60） | 1 | 講義用スライド投影 |
| 講義 | 書画カメラ（P-100） | 1 | 講義用資料投影 |